

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策として、消防訓練は実施しているが地震等を想定した訓練の実施はできていないし、災害時のような体制をとるのか身につけることができている職員は少ない。また地域の方々と協力体制の連絡網を作りあげたが、実際にそれを使っての訓練は実施できていない。	全職員が非常災害時のような動きをすればよいのか理解でき、訓練で実践できる。地域住民の方の協力体制の確保ができる。	消防訓練とは別に地震等を想定した訓練を8月・2月頃に実施する。消防訓練の際に地域住民の方にも参加していただき、連絡網の確認、非難の方法を消防署の職員から学ぶ。	12ヶ月
2	52	居間兼食堂の一角にある畳敷きの場所があるがうまく活用できていないので、入居者さん同士がゆっくりと話したりくつろげる場所が少ない。	入居者さん同士がゆっくり話しができ、くつろげる空間を作る。	入居者さんの特性を考えた上で居間兼食堂のテーブルの位置をかけてみたり、畳敷きのスペースで食事をとったり、趣味活動ができるよう入居者に促しをする。畳敷きスペースの前には高い段差があるので踏み台を置き上がり易くする。	6ヶ月
3	4	運営推進会議は2ヶ月に1回開催することができるが、メンバーが固定されていて、たくさんの意見を聴くことが出来ていない。会議に参加されていない家族の意見を活かせるようにすることも課題である。運営推進会議がマンネリ化されている。	運営推進会議の際の会議に参加されていない家族の意見も活かす。事業所のメリットだけではなく、家族や地域にとってのメリットも伝えることができる。	来年度中に家族や近隣の方々、構成メンバーに対してアンケート調査を実施し事業所の印象や要望等についての把握に努める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。